



2023年12月期第2四半期 決算補足説明資料

日華化学株式会社

(東証プライム：4463)

2023年7月28日

1

サマリー

サマリー

1 全社：減収・減益

売上高：24,306百万円（△2.5%）、営業利益：432百万円（△68.8%）

経常利益：766百万円（△58.0%）、四半期純利益：285百万円（△73.1%）

特別利益：1.4億円減

2 化学品事業：減収・減益

売上高：17,160百万円（△4.9%）、セグメント利益：444百万円（△54.3%）

【売上高】（-）欧米アパレル在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減

【利益】（-）売上減による利益減、原材料高（対策）販売拡大や価格改定

為替：期中平均 円/米ドル 135.99円 10.4%円安

国産ナフサ：1Q:66,500円（前年同期比+2.9%）2Q予想:67,600円（同△21.5%）

3Q予想:60,000円（同△26.4%）

3 化粧品事業：増収・減益

売上高：6,823百万円（+8.2%）、セグメント利益：850百万円（△30.5%）

【売上高】（+）デミコスメティクス新商品好調・注力商品堅調、山田製薬・デミ コリア好調

（-）美容室来客数の減少

【利益】（-）戦略的プロモーション投資等で販管費増

4 財務体質改善

減収減益となったが着実に財務体質は改善している

- ・ 営業CF改善 17億円の収入（前2Q営業CF1億円の支出）
- ・ 有利子負債 93億円 22億円の減少（前2Q末115億円）
- ・ 自己資本比率 52.4% +3.7pt改善（前2Q48.7%）

2

決算概要 (全社)

決算概要（全社）

減収・減益

	2022年12月期 第2四半期	2023年12月期 第2四半期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	24,917	24,306	△610	△2.5%
営業利益	1,386	432	△954	△68.8%
（営業利益率）	（5.6%）	（1.8%）		
経常利益	1,823	766	△1,057	△58.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,058	285	△773	△73.1%
ROA	5.0%	1.5%		△3.4pt
ROE	8.0%	2.0%		△6pt
EBITDA	2,567	1,534	-	△1,033
減価償却費	1,180	1,101	-	△78
自己資本比率	48.7%	52.4%		3.7pt
年間配当（円）	30	32		

ポイント

【売上高：減少】

- （－）化学品：欧米アパレル在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減
- （＋）化粧品：デミコスメティクス新商品、山田製薬、デミコリア好調

【利益：減少】

- （－）化粧品：戦略的プロモーション投資等で販管費増
- （－）原材料高止まり、ユーティリティコスト上昇

為替：期中平均 円／米ドル 135.99円 10.4%円安

国産ナフサ：1Q:66,500円（前年同期比＋2.9%）2Q予想:67,600円（同△21.5%）
3Q予想:60,000円（同△26.4%）

連結キャッシュフロー

営業CF： +17億円	EBITDA 15億円、運転資本減5億円、法人税支払5億円
投資CF： △5億円	固定資産取得による支出5億円
財務CF： △14億円	借入金返済10億円、配当金支払3億円

単位：百万円

連結CF	2022年12月期 第2四半期	2023年12月期 第2四半期	増減額
営業CF	△126	1,759	+1,886
投資CF	△110	△501	△390
財務CF	△465	△1,415	△950
期末現預金残高	6,986	7,211	+225
有利子負債	11,590	9,304	△2,286

EBITDA：	1,534百万円
運転資本の減少：	500百万円
法人税支払い	△531百万円

定期預金預入払戻：	65百万円
有形固定資産取得：	△560百万円

借入金返済：	△1,034百万円
配当金支払：	△299百万円

2

決算概要
(セグメント別)

セグメント

「化学品」と「化粧品」の2つの事業領域

化学品事業

創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用、2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開

繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル
(先端材料)



主要な関係会社

- ・大智化学産業株式会社（半導体産業向け）
- ・日華化学（中国）有限公司
- ・NICCA KOREA CO., LTD.
- 他13社

化粧品事業

「主力ブランド「DEMI」を中心としたプロフェッショナル向け美容室専売品 お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさをテーマに研究開発」

ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング



主要な関係会社

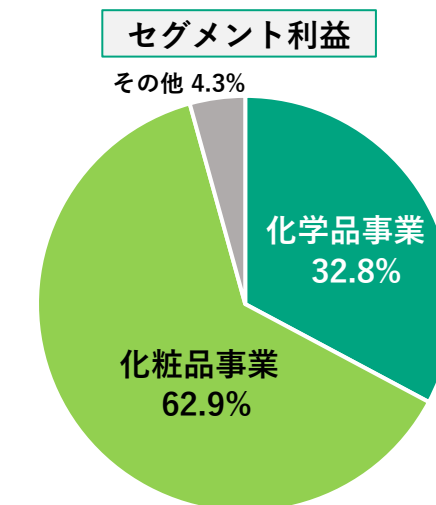
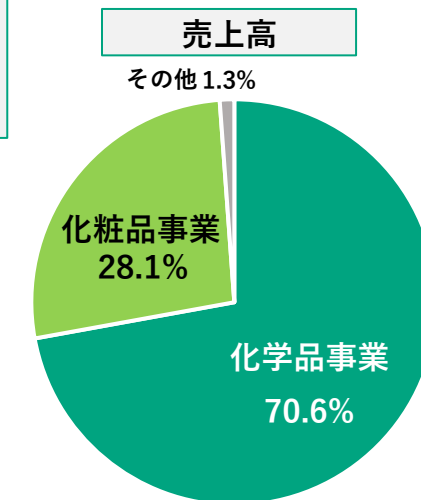
- ・山田製薬株式会社（化粧品OEM/ODM）
- ・イーラル株式会社
- ・DEMI KOREA CO., LTD.
- 他4社

セグメント別業績

化学品事業：減収減益（主力の繊維化学品分野における欧米アパレル在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減）

化粧品事業：増収減益（デミコスメティクス新商品・山田製薬・デミコリア好調の反面、戦略的プロモ投資等で販管費増）

売上高：化学品事業が約7割
利益：化粧品事業が約6割



単位：百万円		2022年12月期 第2四半期		2023年12月期 第2四半期		前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	化学品事業	18,041	72.4%	17,160	70.6%	△881	△4.9%
	化粧品事業	6,307	25.3%	6,823	28.1%	516	8.2%
	その他	568	2.3%	322	1.3%	△246	△43.3%
	合計	24,917	100%	24,305	100%	△610	△2.5%
セグメント利益	化学品事業	973	43.3%	444	32.8%	△529	△54.3%
	化粧品事業	1,223	54.5%	850	62.9%	△373	△30.5%
	その他	49	2.2%	58	4.3%	9	18.6%
	合計（消去前）	2,245	100%	1,353	100%	△892	△39.7%
	消去等	△859		△920			
	合計	1,386		432		△954	68.8%

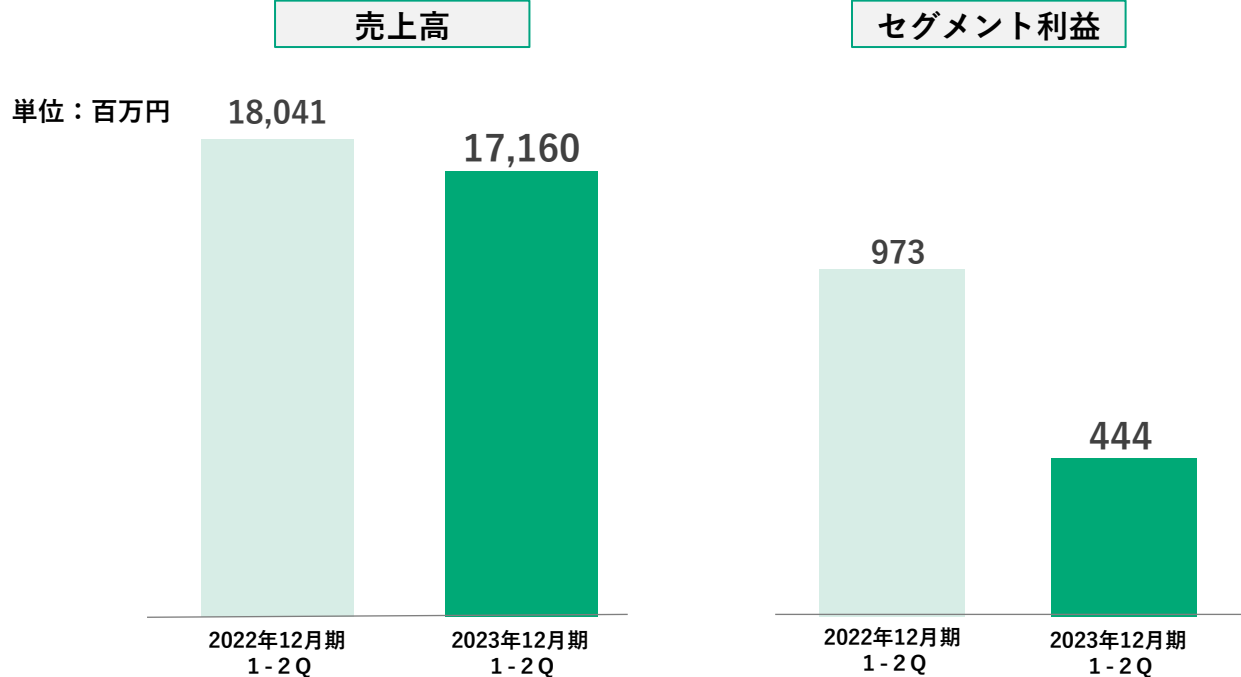
セグメント別（化学品事業）

減収・減益

単位：百万円

化学品事業	2022年12月期 第2四半期	2023年12月期 第2四半期	前期比	前期比
			増減額	増減率
売上高	18,041	17,160	△881	△4.9%
セグメント利益	973	444	△529	△54.3%

為替：期中平均 円/米ドル 135.99円 10.4%円安
 国産ナフサ：1Q:66,500円（前年同期比+2.9%）
 2Q予想:67,600円（同△21.5%）
 3Q予想:60,000円（同△26.4%）



要因

【売上高】

- ◆繊維化学品分野
 - (+) バングラビジネスの成長
 - (-) 欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷（想定以上）
 - (-) 1Qのコロナ拡大による中国低稼働（想定外）
- ◆クリーニング薬剤分野（国内）
 - (+) インバウンド回復によるリネンサプライ用薬剤販売増

【利益】

- (-) 売上減による利益減（対策）販売拡大や価格改定

【分野別】

- ◆EHD¹関連
 - <+ 販売堅調> 水系ウレタン、抗菌・消臭剤、特殊オイル
 - <+ 新規販売> 自動車向け合皮用トップコート剤

¹EHD：Environment、Health、Digital

セグメント別（化粧品事業）

増収・減益

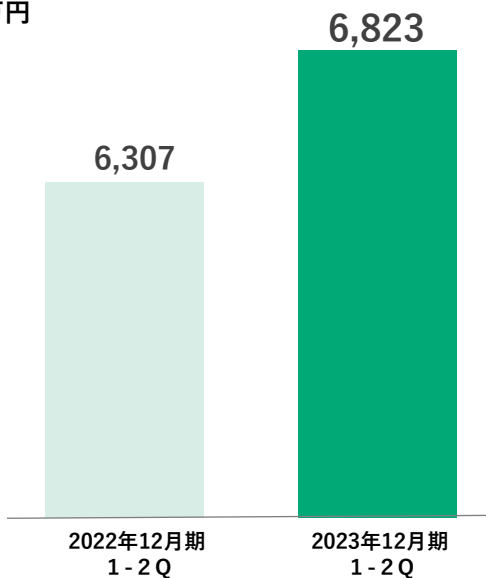
単位：百万円

化粧品事業	2022年12月期 第2四半期	2023年12月期 第2四半期	前期比	前期比
			増減額	増減率
売上高	6,307	6,823	516	8.2%
セグメント利益	1,223	850	△373	△30.5%

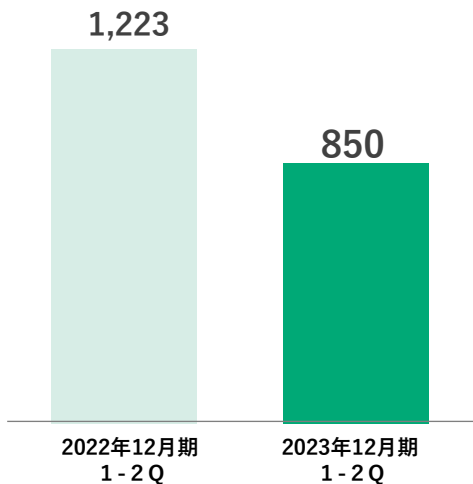
為替：期中平均 円／米ドル 135.99円 10.4%円安
 国産ナフサ：1Q:66,500円（前年同期比+2.9%）
 2Q予想:67,600円（同△21.5%）
 3Q予想:60,000円（同△26.4%）

売上高

単位：百万円



セグメント利益



要因

【売上高】

- (+) 日華化学デミコスメテイクス
新商品スタート好調、注力商品堅調
- (+) 山田製薬、デミコリア好調
- (-) 美容室来客数の減少（想定以上）による影響受け

【利益】

- (-) 積極的なプロモーション活動実施による広告宣伝費等
販管費増（計画通り）

- ◆デミコスメテイクス新商品
ヘアケア「DEMI DO(デミドゥ)」
ヘアカラー「トイロクシオン」

- ◆山田製薬
ヘアケア受託事業好調

- ◆デミコリア
・美容室来店客数は引き続き低迷している中、ヘアケア、
カラー好調

施策 (2023年12月期)

メリハリのある投資と高利益率の化粧品への注力

	施策	進捗状況
化学品事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利益率のアップ <ul style="list-style-type: none"> -高利益率のEHD領域製品販売比率を高める(=EHDシフト) -業務の効率化 (営業・研究・生産・バックオフィス等全職種) 	<ul style="list-style-type: none"> ・EHD需要増に対する販売戦略推進中 ・新規フッ素フリー撥水剤上市 ・研究基幹システム、データ分析システム等、着実に運用開始・定着化
	<ul style="list-style-type: none"> ・海外でのEHD製品の拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ・水系ウレタン、抗菌・消臭剤、特殊オイル販売拡大 ・自動車向け合皮用トップコート剤新規販売開始(現在2ヵ国)
化粧品事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大型新ブランド「DEMI DO (デミ ドゥ)」新発売 (4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの反応良好で販売好調 デジタルプロモーション奏功
	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹ヘアカラーブランドのフルリニューアル「トイロクション」 (6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6/8予定通り販売開始し順調に出荷 WEB広告経由サンプル申込好調、サロン関心喚起奏功
	<ul style="list-style-type: none"> ・広告メディアへの露出、SNSなどを活用したデジタルプロモーションの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月/全国5大都市駅で大規模交通広告 都内主要バス停広告掲出

7

業績・配当予想他
(2023年12月期)

業績予想（2023年12月期） 全社

増収・^(予想)減益、増配

単位：百万円	2022年12月期	2023年12月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
売上高	50,627	51,000	+372	+0.7%
営業利益 (営業利益率)	2,628 5.2%	2,100 4.1%	△528	△20.1%
経常利益	3,132	2,400	△732	△23.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,114	1,300	△814	△38.5%
年間配当(円)	30	32	+2	—

7月28日付で通期の業績予想の修正を発表しております。なお、配当予想は修正しておりません。

為替/135円（円/米ドル、2023年2Q平均程度） ナフサ/66,500円（2023年1Q平均程度） 設備投資予定額(2023年12期) /2,300百万円(変更なし)

<業績修正理由> 下期業績回復も上期の業績をカバーするには至らない為（見込み）

- 上期 【売上減】 化学品事業で、欧米アパレル在庫調整、コロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減が想定以上に長期化
【利益減】 高収益製品販売不調による減益幅拡大
- 下期 【需要増】 化学品事業で、欧米アパレル市況の回復見込み
【売上増】 化粧品事業で、上期に新発売商品による

業績予想（2023年12月期） 全社

下期：業績回復要因

化学品

- 1) 【市況回復見込み】 アパレル市況 在庫調整終了
- 2) 【新規案件の早期実現】 フッ素フリー撥剤、Smart Dyeing Process薬剤等
- 3) 【コストダウン】 原料、物流費等

化粧品

- 1) 【新商品発売】 ヘアケアシリーズ
「DEMI DO」 メンズライン 9月発売
- 2) 【販路拡大】 「DEMI DO」 韓国で9月より発売開始
- 3) 【商品展開拡大】 ヘアカラーシリーズ
「トイロクシオン」 (技術商品)のプロモーション展開

業績予想（2023年12月期）セグメント別

(予想)

化学品事業：減収・減益

化粧品事業：増収・減益

単位：百万円

セグメント	2022年12月期 実績		2023年12月期 予想		前期比		前期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	増減率	セグメント利益	増減率
化学品事業	36,268	1,861	36,000	1,600	△268	△0.7%	△261	△14.0%
化粧品事業	13,265	2,438	14,000	2,250	+734	+5.5%	△188	△7.7%
その他	1,093	129	1,000	100	△93	△8.6%	△29	△22.5%
消去等	-	△1,800	-	△1,850	-	-	△50	-
合計	50,627	2,628	51,000	2,100	+372	+0.7%	△528	△20.1%

7

直近の トピックス

直近のトピックス① (化学品事業)

Bangladesh 営業事務所から現地法人化へ倉庫兼工場建設

■ Bangladesh 経済特区 (Bangladesh Special Economic Zone) 概要

事業主体：Bangladesh SEZ Ltd.

出資比率:住友商事(株) 76%・Bangladesh 経済特区庁 (BEZA) 24%

所在地 : Bangladesh ダッカ管区 ナラヤンガンジ県 (ダッカ市内から車で約50分)



経済特区開発風景

■ 経済特区予約契約内容

内訳：土地購入・倉庫・生産設備投資

使用期間:50年

延べ床面積:13,602㎡

■ 当社現地法人設立概要

会社名： Nicca Bangladesh Co., Ltd.(仮)

設立日： 2023年10月を予定

事業内容： 繊維加工用界面活性剤の製造及び販売



BSEZでのサインセレモニー

直近のトピックス② (化粧品事業)

4月12日より全国取り扱いサロンにて発売中

「DEMI DO (デミドゥ)」日本で販売好調、韓国でも発売決定 「DEMI DO MEN」9月発売予定

ブランドコンセプト「一生この髪とあそぼう」の実現

スカルプケアは地肌や毛髪に悩みのある人だけが使うものといったネガティブなイメージを一新
カラフルなデザインと、手軽で簡単に毎日続けられるスカルプケアを幅広い年代の方に提案

40年以上の専門研究の集大成！初めての「デミ」ブランド名

デミ コスメティクスの最新技術の自信、そしてスカルプケアの概念を変えたいという思いから、
初の「デミ」を冠したブランド名



一生、
この髪とあそぼう。
SMART SCALP CARE

DEMI DO

直近のトピックス③ (化粧品事業)

デミ コスメティクスより基幹ヘアカラー「トイロクション」6月8日発売 販売好調

- ・ヘアカラーブランド「アソート アリア C」がブランド名も新たに進化、「トイロクション」としてフルリニューアル
- ・96色のラインナップでさらに表現の可能性を広げ、お客様の要望、髪質やダメージに寄り添いながら、**十人十色の理想の色を叶える**
- ・SDGs取り組みの一環として、**プラスチック量を約55%削減した新形状の小型キャップ**を採用
- ・デミ コスメティクス初となる**タレントを起用したプロモーション**を開始



現行キャップ

新形状小型キャップ

DEMI

直近のトピックス④ (化粧品事業)

名古屋大学との共同開発

皮膚の水分保持等に関するタイトジャンクションの機能性を確認 (7月)



■ 本研究のポイント

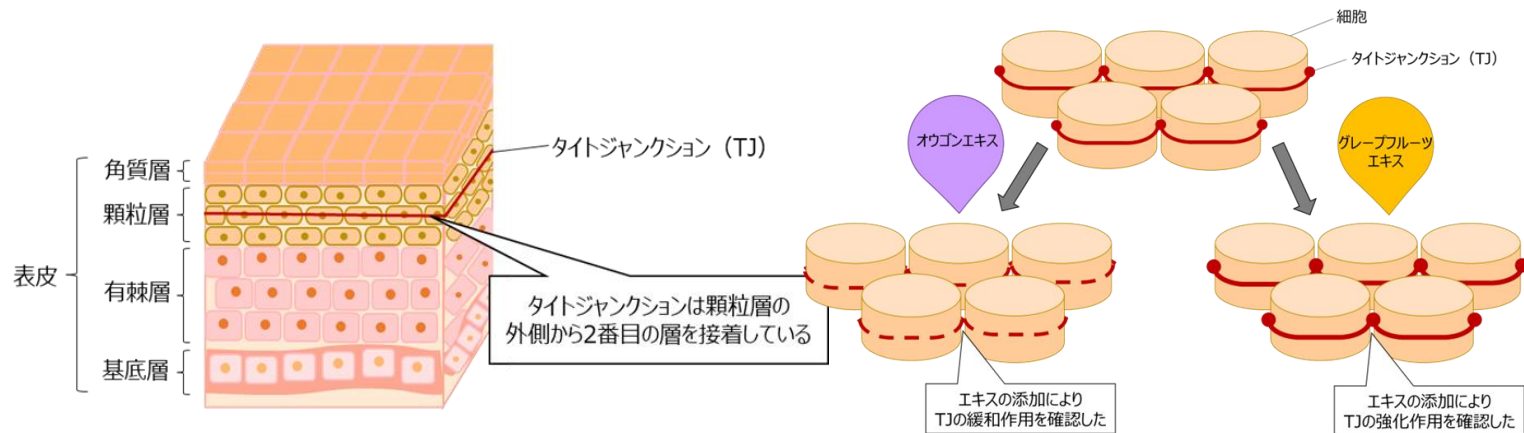
- ・タイトジャンクション (以下「TJ」) の開閉制御に着目
- ・TJの緩和作用を示すオウゴンエキスとTJの強化作用を示すグレープフルーツエキスの機能性を確認

タイトジャンクションとは

皮膚最表面である表皮を構成する顆粒層に存在し、隣接細胞の間隙を埋める細胞接着装置。タイトジャンクションが細胞同士を強く接着させることで、皮膚のバリア機能を高め外部からの刺激物の侵入を防いだり、内部からの水分や保湿成分の蒸散を防いだりすることができる。

■ 今後の展開

日華化学では、本研究にて確認された成果を活かして、これらのTJ緩和および強化作用を有する成分を配合し、育毛や地肌の保湿、バリア機能強化などの機能性効果をより高めた多くの髪の悩みを抱える人々に向けたスカルプケア商品の開発を目指す

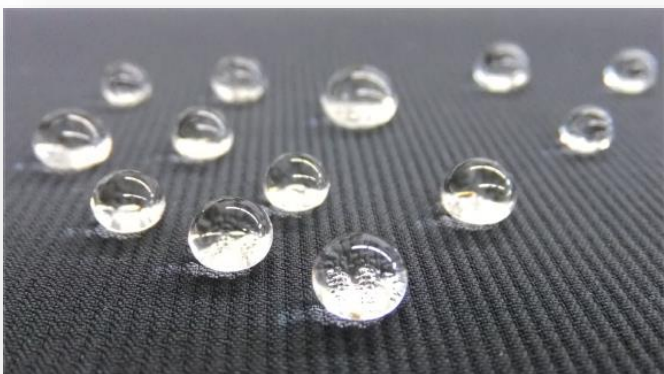


直近のトピックス⑤ (化学品事業)

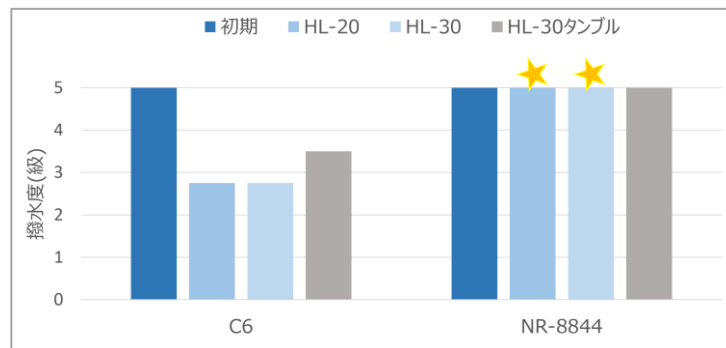
新規フッ素フリー撥水剤「NEOSEED NR-8844」発表 (6月)

自然乾燥でも撥水性が回復 = 常識を覆す新機能

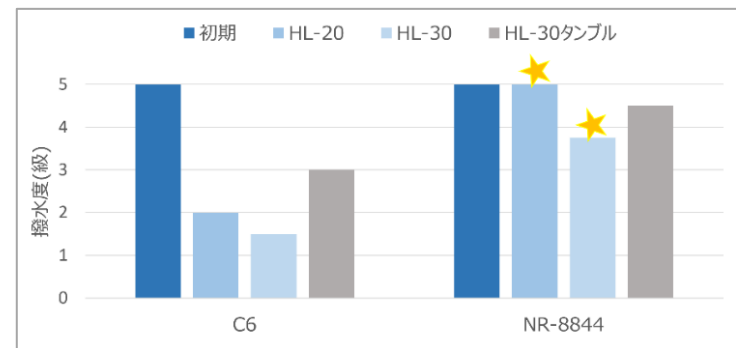
- ・フッ素系 (C6) 撥水剤を超える耐久撥水性を持つ”NEOSEED NR-8844”は、風雨にさらされた生地でも「自然乾燥」で撥水性が回復するフッ素フリー撥水剤
- ・例えば、アウトドアウエアは、あらゆる天候下にさらされ激しい動きにも耐える生地物性が求められるが、NR-8844は撥水性のみならず優れた耐スリップ性と柔らかな風合いが特長で、快適な着心地を提供
- ・ bluesign® 認証製品 (申請中) で環境負荷低減を実現



ポリエステル



ナイロン



生地：ポリエステル100%(織物) / ナイロン100%(織物) 処方：撥水剤 + 架橋剤
 処理：Pad → Dry 130°C → Cure 170°C 洗濯：JIS L 1930:2014 C4M法 評価：JIS L 1092:2009

⇒ フッ素フリーで高い撥水機能を実現

直近のトピックス⑥

東証スタンダード市場選択申請（6月）

■スタンダード市場の選択理由

- ①株主様が安心して当社株を保有・売買できる環境を確保するため
- ②近い将来、企業価値を大きく向上させ、株主様への還元を高いレベルで安定的に実行できるようになるべく、先ずは高収益化に向けた土台を固める施策に経営資源を優先的に振り向けるため
 - ・化粧品事業拡大のための大型投資（新工場建設やマーケティング強化など）
 - ・化学品 EHD 事業領域への積極投資（新規事業育成、新技術探索、M&A など）
 - ・DX や人材への積極投資 など





Appendix

財務データ等推移

項目	2014/2Q	2015/2Q	2016/2Q	2017/2Q	2018/2Q	2019/2Q	2020/2Q	2021/2Q	2022/2Q	2023/2Q
売上高	19,542	21,999	20,966	23,414	24,752	23,649	19,753	23,237	24,917	24,306
EBITDA のれん償却額反映	2,576	2,424	1,722	1,999	2,180	1,703	1,678	2,617	2,566	1,534
(EBITDA率)	13.2%	11.0%	8.2%	8.5%	8.8%	7.2%	8.5%	11.3%	10.3%	6.3%
減価償却費 のれん償却額含む	880	935	840	923	967	933	1,339	1,241	1,180	1,101
営業利益	1,696	1,489	882	1,076	1,213	770	339	1,376	1,386	432
(営業利益率)	8.7%	6.8%	4.2%	4.6%	4.9%	3.3%	1.7%	5.9%	5.6%	1.8%
経常利益	1,688	1,632	831	1,099	1,266	681	470	1,596	1,823	766
親会社株式に帰属する四半期純利益	1,129	993	402	571	1,829	329	190	1,583	1,058	285
1株当り四半期純利益 (円)	64.21	58.27	25.64	36.45	116.58	20.95	12.14	100.59	67.14	18.06
配当金 (円)	8	8	10	8	8	8	4	8	11	16
自己資本比率	42.7%	39.3%	35.7%	34.7%	35.7%	37.0%	37.6%	44.7%	48.7%	52.4%
ROE	13.6%	10.5%	4.7%	6.7%	18.9%	3.3%	1.8%	14.2%	8.0%	2.0%
ROA	8.4%	6.7%	3.8%	4.3%	4.4%	2.8%	1.3%	5.2%	5.0%	1.5%
研究開発費	984	1,010	1,061	986	1,085	1,022	982	1,062	1,083	-
従業員数 (人)	1,227	1,359	1,444	1,455	1,490	1,514	1,503	1,472	1,469	1,508

※ は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準 第29号)等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目



お問い合わせ先

日華化学株式会社 IR担当

TEL:(0776)25-8584(直通)

Email : matsushima@niccachemical.com

この資料には、2023年7月28日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。